（別紙1）

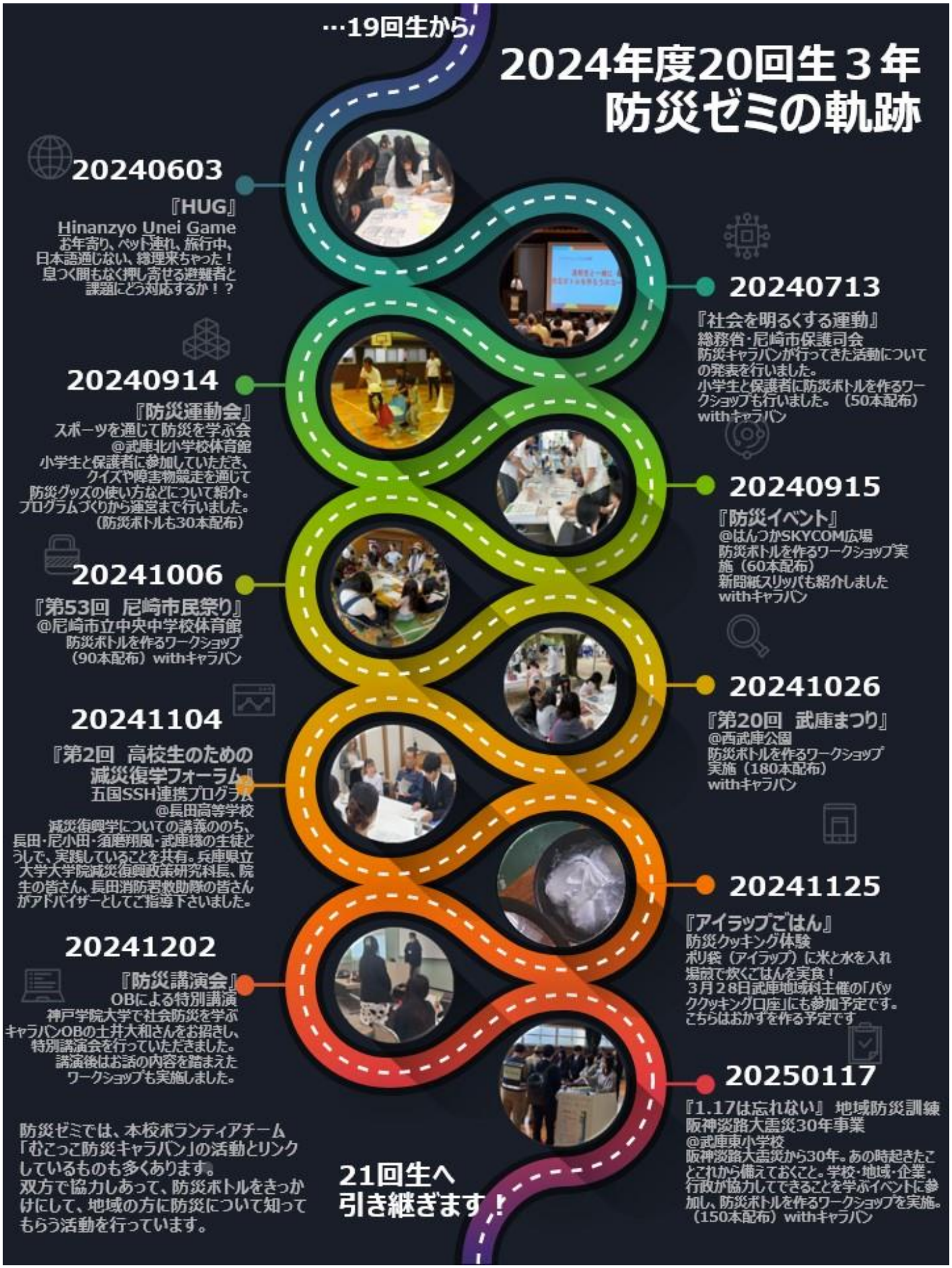
尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業　教育・研究活動事業実績報告書

<table>
<tr><td>教育･研究活動名</td><td colspan="5">武庫総みんなの防災ボトル（MCMBB）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">申請大学･高校等名</td><td>大学及び
高校等名</td><td colspan="4">兵庫県立武庫荘総合高等学校</td></tr>
<tr><td>活動
グループ名</td><td colspan="2">むこっ子防災キャラバン</td><td>参加学生
等人数</td><td>17人</td></tr>
<tr><td rowspan="3">指導責任者名
及び連絡先</td><td>学部･学科等
名称</td><td colspan="4">まなび支援部　部長</td></tr>
<tr><td>責任者氏名</td><td>星野　涼子</td><td>連　絡　先
電話番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">協働する市民活動団
体及び代表者名</td><td>団体名</td><td colspan="4">武庫第11社会福祉連絡協議会</td></tr>
<tr><td>代表者氏名</td><td>林　吉裕</td><td>連　絡　先
電話番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">協働する市民活動団
体及び代表者名</td><td>団体名</td><td colspan="4">学校開放運営委員会（武庫北小学校）</td></tr>
<tr><td>代表者氏名</td><td>瀬戸　富士男</td><td>連　絡　先
電話番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>教育･研究活動
目標</td><td colspan="5">むこっ子防災キャラバンでは、プラスチックボトルに災害時に役立つグッズを入れた携帯用の「防災ボトル」をワークショップで作ってもらい、防災意識を広める活動を地域の親子や高齢者に向けて行っている。
総合的な探究の時間の「防災ゼミ」として、キャラバンとの活動をリンクさせることで「社会を明るくする運動」「防災運動会」など、地域へ向けて協働団体と共に活動の場をさらに広げた。今後も地域のニーズを受けながら、社会参画意識や地域交流の意義について考え、リーダーとして活動できる生徒を育てていきたい。</td></tr>
<tr><td>活動内容及び
実績、評価</td><td colspan="5">・任意様式の添付でも可とします。
・作成には次の内容を踏まえてください。
（活動内容及び実績）
・できるだけ活動内容のわかる写真等を掲載してください。
（評価）
①学生等　②市民活動団体の活動者　③指導教員の視点を踏まえて、次の項目について評価･分析したものを掲載してください。
・想定していた活動成果に対する達成度合い（達成できたこと、できなかったこと等）
・学生等が関わった地域、団体の活動の変化等
・学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化等</td></tr>
</table>

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。

＜令和6年度　防災キャラバン　活動内容、実績＞

1. 校内発表用ポスター



2. 地域での活動の詳細

①「社会を明るくする運動」での活動報告　７月１３日（土）　武庫西生涯学習プラザ

・尼崎市保護司会より活動報告の場を提案いただき、発表についてゼミで計画。
・防災ボトルのワークショップを紹介するために実際に小学生と保護者に来場いただいて活動する様子を地域の方々に見ていただきました。(防災ボトル50本配布)
・避難所での口腔衛生の重要性についても発表し、歯磨きシートの実演も行いました。

②　スポーツを通じて防災を学ぶ会（防災運動会）　９月１４日（土）　武庫北小学校

・学校解放運動運営委員会との協同で、体を動かしながら防災を学ぶイベントをゼミで計画。
・準備運動、防災に関するクイズ、ポリタンクや担架を使った障害物リレー等で楽しみながら防災グッズの使い方を紹介するプログラムを実施しました。(防災ボトル30本配布)
・夕方に実施しましたが残暑で暑い中、子供たちや大人も楽しんで参加してくれました。

③　防災イベント in はんつかスカイコム　９月１５日（日）　塚口はんつか SKY COM 広場

・尼崎市消防団主催の防災イベントに、防災キャラバンとして１年ボランティア生徒も参加。
・防災ボトルのワークショップ（60本配布）や新聞紙スリッパの紹介を行いました。

④　第５３回　尼崎市民祭り　１０月６日（日）　市立中央中学校

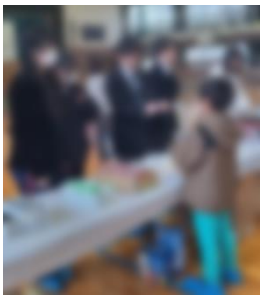
・市民まつりの学生ひろばに、防災キャラバンとして１年ボランティア生徒も参加。
・子供向けに塗り絵をしてもらって（裏面には連絡先が書ける欄を印刷）防災ボトルに入れることで、オリジナルにカスタマイズできるようにしました。(90本配布)

⑤　第２０回　武庫まつり　１０月２６日（土）　西武庫公園

・武庫まつりのあおぞら市に、防災キャラバン・ゼミとして参加。
・子供向けには塗り絵を実施、地域の方々へも防災ボトルを紹介した。(150本配布)
・武庫まつりの来場者が多く、運営もスムーズに実行できたこともあり、終了時間より早めにボトルを配布終了になりました。最後は全体の片付けなどを手伝いました。

⑥「１．１７を忘れない」地域防災訓練　１月１７日（金）　武庫東小学校

・阪神淡路大震災３０年事業に、防災キャラバン・ゼミとして参加。
・防災ボトルを紹介しながら、小学生や地域の方へ配布しました。(150本)



⑦「SPRING CAMP」パック調理、非常食試食会　３月２８日（火）　武庫西生涯学習プラザ

・地域保健課の管理栄養士さんの指導で、小学生と加熱可能なビニル袋での調理に挑戦しました。一緒に調理や試食をして、被災時の食事のシミュレーションができました。
・非常食試食会では、お菓子やパンの長期保存食品の食べ比べを行い、感想を共有しました。

＜その他、活動の報告＞

① 尼崎でつながる地域の活動報告会で活動について報告（２月３日（月）園田学園女子大学）

② 武庫荘総合高校学習発表会　教室ブース発表（２月８日（土）武庫荘総合高校）

③ 市民運動理事会への報告（３月２５日（火）武庫西学習プラザ）

④ 第6回　高校生ともしびボランティアアワード顕彰に選ばれ、表彰されました。

⑤ 社会福祉協議会広報誌「ゆうりん」（１０月発行）に記事を掲載してもらいました。

防災月間・特集②

“ボランティア”の現場から。⑥

前回に引き続き、県立武庫荘総合高等学校で活動する高校生の寄稿です！

防災ボトル、みなさんは、準備してますか？

誌面からこんにちは。むこっ子防災キャラバン広報部(仮)です。むこっ子防災キャラバンとは武庫荘総合高校のボランティアグループです。「総合的な探求の時間」のゼミの一つである防災ゼミと連動して活動しており、防災に関わる課外活動を行っています。今年度、防災ゼミでは、「社会を明るくする運動」武庫地区集会で活動についての発表、防災運動会などの活動を行いました。

防災キャラバンでは〝防災ボトル〟を広めるためのワークショップに力を入れています。毎年恒例、尼崎市民まつり(10月6日)、武庫まつり(10月26日)でワークショップを開催するのでぜひご参加ください。

そんな私たちは、「支え合いを育む人づくり支援事業」の助成を受けており、武庫地域課の方々をはじめ、様々な方に活動をサポートしていただいています。活動している我々も自身の成長を実感していますし、何より、こどもたちに喜んでもらって、地域の方々に感謝される経験が活動の励みになっています。これからも今までの活動を継続しつつ、少しずつ活動の幅を広げていきたいと思っていますので、以後、お見知りおきを。

＜評価＞

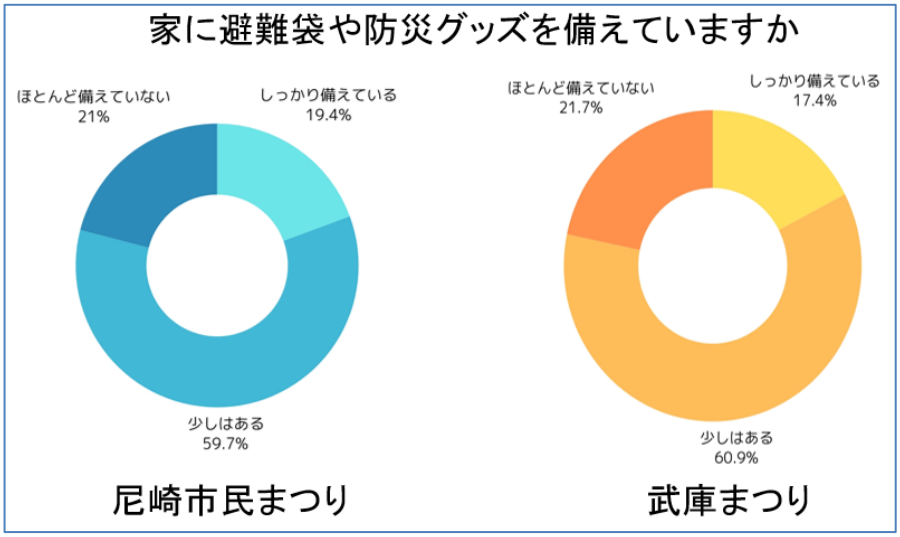
①生徒の感想（3年次）

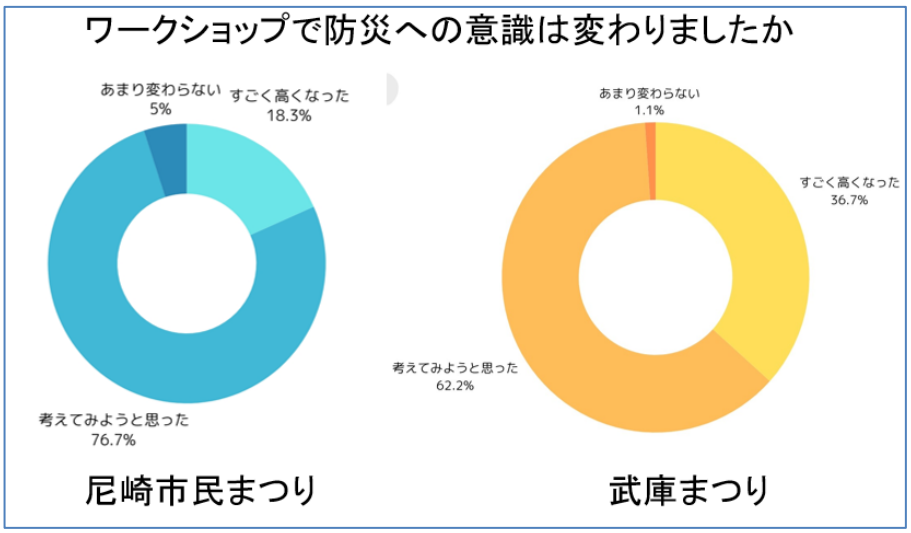
去年は防災キャラバンのワークショップに参加するだけだったが、今年は防災ゼミに入ったので、活動の幅が大きく広がった。すでに防災キャラバンに所属していたということで、活動の中心になることがあった。広報誌に関わったり、地域の方々に活動報告をしたり、やることが多くて大変だったが、その分活動の実感が強くあり、充実していた一年となった。地域の方と対話する機会がたくさんあり、そのたびに活動の励みになるような言葉をかけていただいた。

ワークショップの際に答えてもらっているアンケートの結果から、能登半島で起こった地震や、南海トラフ巨大地震の報道を受けて、防災について考えようとしている人が増えていることが分かった。しかし、そう考えている人の多くが実際に行動に起こせていない。防災ボトルは内容量の少なさなどの理由から、備えとして大きな効果を期待することはできないが、防災について考えるきっかけとしては良い方法だと思うので、より一層防災ボトルの普及に力を入れ、地域の方々の防災意識を高めるために活動していきたいと思った。

高校生が中心になって活動するボランティア活動として、後輩に引き継いでいき、今よりさらに活動の幅を広げ、「武庫荘総合高校と言えば防災ボトル」と言われるくらい皆さんに知っていただけるように励みたい。

＜アンケート結果＞





また、3月25日の市民運動理事会への報告会の質疑で「大変だったこと、良かったこと」について、生徒（1年次）は「最初はコミュニケーションを上手くとれなくて大変だと感じたし、自分の知識が足りなくて聞かれたことに上手く答えられなかったのが悔しかった。でも活動をしているうちに、子どもにありがとうと言ってもらったり、色々と話をして人間関係が広がったりしていくのが嬉しかったです」と応答していました。

何度も参加する機会があることで、生徒自身も成長を感じることができたと感じます。

②市民活動団体の活動者

学校開放運営委員会からは「若い世代の代表となる高校生が活動することで地域の潤滑油となり、子供と大人をつないでいくことができる」と評価をいただきました。活動発表に関しても「毎年クオリティが高くなっている」と、活動や報告の場を作ることに協力いただきました。

市民運動理事会で、防災ボトルについて「いつ被災するか分からないから、持ち歩くことで外出先で約に立つことがあるかもしれない。ワークショップでは「作って楽しかった」で終わるのではなく、備えることの大切さなどをもっと広めていってほしい。」と、次年度以降の活動についての期待をしていただきました。

防災運動会を行った小学校の先生からは「いつも同じ大人（先生）が教えているとマンネリ化してしまいますが、子供と年の近い高校生が教えてくれるのは子供たちにも良い刺激になるのでとてもありがたいです」と、生徒たちの活動を評価していただきました。

消防団の方からは「防災ボトルは防災について考えるきっかけを作る方法として優れているので、広めることに意義がある。」というご意見をいただき活動の後押しをいただきました。

③指導教員

今年度は、防災キャラバンの活動を「総合的な探究の時間」のゼミ活動として取り組んだ2年目となります。代々の生徒たちの続けてきた活動が徐々に浸透してきたこともあり、今まで以上に活動や発表の機会が増え、地域からの要望と活動の広がりを感じました。生徒にとっては、実際に多くの方と接して活動を認めてもらう場があることで、積極性や主体性が養われ、大人の人達に期待されているという確信が、それぞれの成長につながっていると感じます。

今後の課題や目標としては、防災ゼミの活動をつなげていくために「防災キャラバン」として学校内の周知を広めて、後輩に引き継いでいくことの重要性があります。今年度は2年次生徒の防災キャラバンへの参加がなかったため、活動の継続が心配されました。1年次の生徒参加者がいたので、後半の活動を引き継ぐことができましたが、継続的な活動に意義があるからこそ、参加生徒の確保を意識的に行っていく必要があると実感しました。生徒が参加したいと思える環境づくりも検討していきます。防災ボトル以外の活動にも視野を広げ、「防災」を軸としたいろいろな活動への展開を考えていくことで、防災ゼミ以外のゼミとの協力も行っていきたいと考えています。